

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択 (/ /)
授業科目名：体育講義・女性のからだと健康 英語表記：Physical Education Healthcare for women		単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：金美珍
ナンバリング：1018			担当形態：単独
科目／系 列	／		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目	／		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 女性のからだと健康について基本的な知識を習得できる。 2. 健康について、自らの日常生活と関連させて考えることができる。 3. 自らの健康について考え、学習した内容を実生活に生かそうとすることができる。			
【授業の概要】 現代を取り巻く環境や社会において健康に生きていくための知識を習得し、さらに女性特有の健康問題について理解を深める。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】 第1回：健康とは 第2回：生活習慣病とその予防 第3回：生活習慣 第4回：欲求・ストレスとうつ病 第5回：身体と性意識・性行動 第6回：意思決定・行動選択 第7回：感染症・性感染症 第8回：妊娠・出産・リプロダクティブヘルス／ライツ① 第9回： ” ② 第10回：喫煙・飲酒・薬物乱用 第11回：医薬品と医療サービス 第12回：結婚生活とライフサイクル 第13回：中高年期 第14回：性に関する諸課題について（外部講師による講演） 第15回：まとめ		【授業時間外の学習】 女性のからだや健康について関心を持ち、自分の興味関心に沿って、資料を収集する。 (1 時間) 授業を通して分からなかったことや疑問に感じたことは、授業後に調べ学習を行う。 (2 時間) 授業で取り上げられたトピックや内容について、自らの日常生活と関連づけて考え、今後より良い生活を送るために取り組むべきことを模索する。 (1 時間) 外部講師の講演を踏まえて、気になったことを調べる。 (1 時間) これまでの授業を振り返り、まとめ学習を行う。 (5 時間)	

定期試験：筆記	
【授業の方法】 講義とグループワークを組み合わせで展開する。各回の学修内容の理解度を確認するため、小テストを実施し、結果に基づいて個別のフィードバックを行う。	
【テキスト】 なし	
【参考書・参考資料等】 適宜資料を配布する。	
【学生に対する評価】 定期試験（60%）、授業内発表・小レポート（20%）、授業参画度（20%）の3つの観点からルーブリックに基づき総合的に判定する。	
【履修上の注意】 事前事後学習にもしっかり取り組み、日常生活に活かすことができるよう、正しい知識を積極的に学ぶこと。	
実務経験の有無：有	実務経験：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所非常勤研究員
【実務経験を生かした教育内容】 女性の身体発達と健康状態の生涯変化について、実務で蓄積した形態計測データと機能評価の知見、および最新の研究成果を活用し、実践的な理解を深める授業を展開する。	